

# 独自機能 (Intel 800 シリーズ)

GIGABYTE Control Center .....	2
1-1 RGB Fusion .....	4
1-2 FAN Control .....	5
1-3 Performance .....	6
1-4 Smart Backup .....	7
BIOS 更新ユーティリティ .....	9
2-1 Q-Flash ユーティリティで BIOS を更新する .....	9
2-2 Q-Flash Plus を使用する .....	12



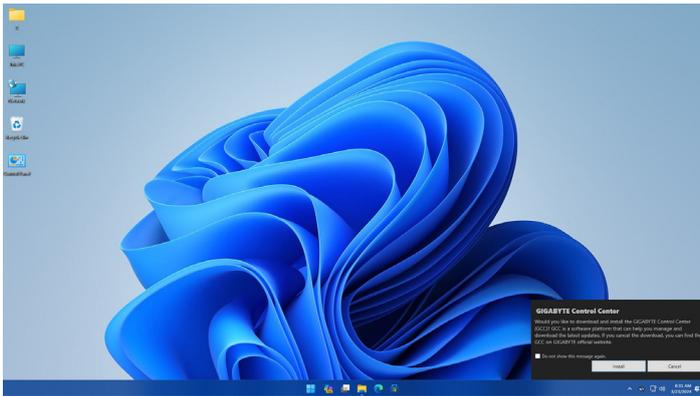
マザーボードのモデルとOSバージョンによってソフトウェアサポートは異なる場合があります。ソフトウェアのセットアップメニューは参考用です。

# GIGABYTE Control Center

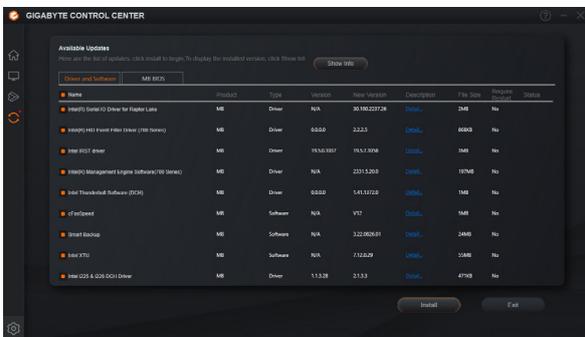
GIGABYTE Control Center (GCC) により、豊富な GIGABYTE アプリにアクセスしやすくなり、GIGABYTE マザーボードを最大限利用できるようになります<sup>(注)</sup>。シンプルで統一されたインターフェイスを用いた GCC により、お使いのシステムにインストールされたすべての GIGABYTE アプリを簡単に起動し、オンラインで関連アップデートを確認するとともに、アプリ、ドライバ、および BIOS をダウンロードできます。

## ドライバのインストール

オペレーティング・システムをインストールした後、GIGABYTE Control Center (GCC) 経由でドライバと GIGABYTE アプリケーションをダウンロードしてインストールするかどうかを尋ねる、ダイアログボックスがデスクトップの右下隅に表示されます。**Install** をクリックしてインストールを続行します。(BIOS設定画面で、**Settings**|**Gigabyte Utilities Downloader Configuration**|**Gigabyte Utilities Downloader** が**有効**に設定されていることを確認してください。)



EULA (使用許諾契約書)ダイアログボックスが表示されたら、<Accept (同意する)> を押して GIGABYTE Control Center (GCC) をインストールします。GIGABYTE CONTROL CENTER 画面で、インストールしたいドライバとアプリケーションを選択して **Install** をクリックしてください。



インストールの前に、システムがインターネットに接続されていることを確認してください。

(注) GIGABYTE Control Center で使用可能なアプリケーションは、マザーボードのモデルによって異なります。各アプリケーションのサポート機能もマザーボードのモデルによって異なります。

## GIGABYTE Control Center の実行

デスクトップモードで、通知画面の GCC アイコン  をクリックして GIGABYTE Control Center ユティリティを起動します (図 1)。メインメニューで実行するアプリを選択するか、アップデートセンターのアイコン  をクリックして、オンラインでアプリを更新することができます。

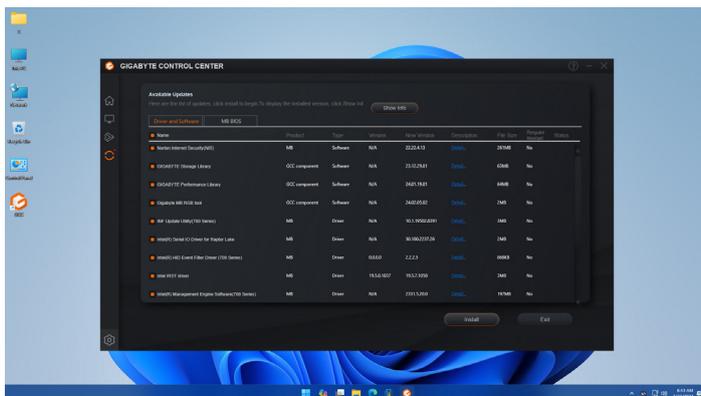


図 1

GIGABYTE Control Center を終了した場合は、スタートメニューの「すべてのアプリ」から GIGABYTE Control Center のアイコンをクリックすることで再起動することができます。(図2)

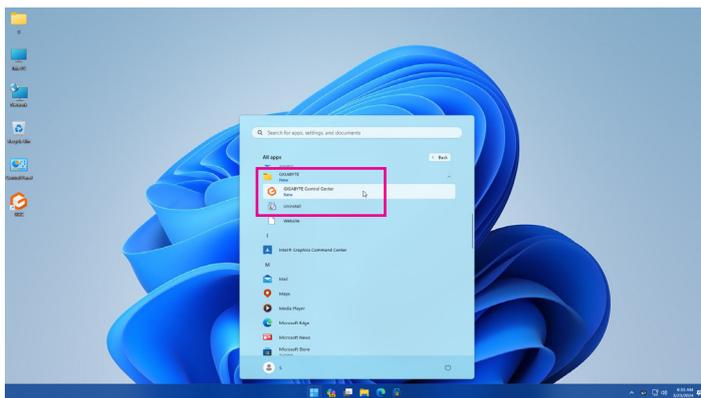


図 2

## 1-1 RGB Fusion

本アプリケーションは Windows 環境下で、オンボードLEDの点灯モードを有効化または指定することができるものです。(注1)

### RGB Fusion インターフェイス



### RGB Fusion 使用方法

- マザーボード上のLED照明、RGB LEDおよび addressable LED テープを制御するためのオプションを設定するには、マザーボードのアイコンをクリックしてさらに設定します。(注2) 希望のエリアを選択し、画面の右側セクションでLEDの色/点灯動作を選択します。
- Addressable LED テープを選択する場合は、**Scan** をクリックして取り付けられたテープの種類を検出します。RGB Fusion は、addressable LED テープの様々なデジタルモードを自動的に表示します。
- Addressable RGB Gen2 LED テープを設置した場合は、**Advanced** モードで個々の LED または LED テープを設定できます。



Addressable RGB Gen2 LED テープの表示例



- LED の異常動作を避けるため、addressable RGB Gen1 LED テープと addressable RGB Gen2 LED テープを同じヘッダに同時接続しないでください。
- Addressable RGB Gen2 LED の最大数は256個、LED テープの最大数は8個です。
- 表示可能な LED または LED テープの数は、各 LED テープの仕様によって異なります。

(注1) RGB FusionはLED照明機能を持つデバイスを自動的に検出し、リストに表示します。  
(注2) 領域/モード/色数などはマザーボードの型番によって異なります。

## 1-2 FAN Control

本アプリケーションでは、オペレーティングシステムでファン速度を監視し、調節できます。

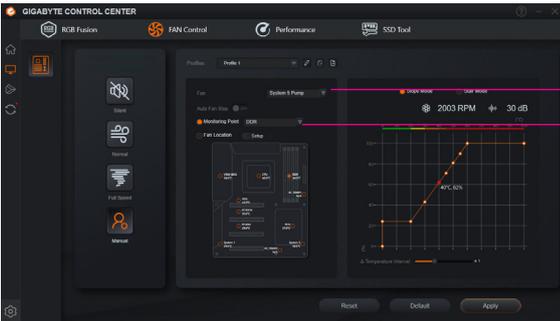
### FAN Control インターフェイス



### FAN Control 使用方法

このアプリケーションでは、スマートファンのモードを指定することができます。

**Manual**モードでは、スマートファンの回転数を調整することができます。ファンは、システム温度によって異なる速度で動作します。**Reset**ボタンを使用すると、ファン設定を前回保存時の値に戻すことができます。**30 dB** ノイズ検出は、シャーシ内部のノイズレベル(デシベル単位)を検出します。



ファンヘッダーを選択  
監視ポイントを  
DDR に設定

マザーボードの同梱品にDDR Wind Bladeが含まれている場合は、そのファンケーブルを指定のファンヘッダーに接続します。**Manual**モードでは、ヘッダーを選択し、温度監視ポイントを**DDR**に設定します。これにより、FAN ControlでDDR Wind Bladeのファン速度を調整できるようになります。**注:**DDR 温度監視ポイントは、この機能をサポートするメモリモジュールが取り付けられている場合にのみ利用可能です。詳細なサポート情報については、メモリバンダーにお問い合わせください。

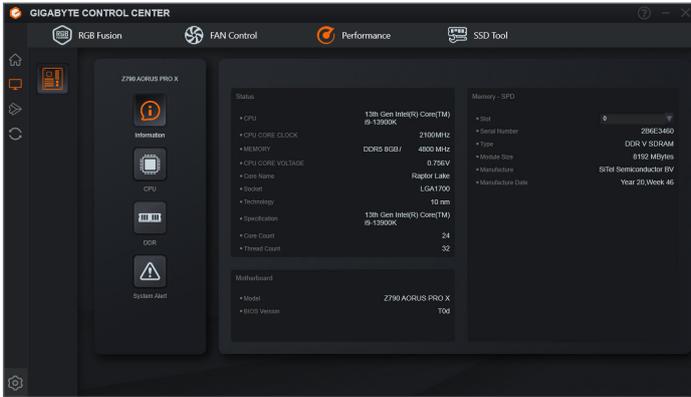


- 速度コントロール機能を有効にするには、ファン速度コントロール設計のファンを使用する必要があります。
- ノイズ検出機能を使用するには、ノイズ検出ヘッダ付きのマザーボードが必要です。

## 1-3 Performance

このアプリケーションは、Windows 環境でシステム設定の微調整やオーバークロック/電圧調整を行うことができる、シンプルで使いやすいインターフェイスです。

### Performance インターフェイス



### Performance 使用方法

#### Information

この欄では、CPU、メモリ、マザーボードのモデル、BIOS バージョンに関する情報を表示します。

#### CPU

Frequency (周波数)	希望するシステム性能を達成するために選択できる、さまざまなレベルの CPU 周波数を提供します。
Status (状態)	CPU とメモリの基本情報、CPU コア周波数、CPU コア電圧を表示します。
Voltage (電圧)	電圧を調整できます。
Power (電源)	電力制限、Load-Line Calibration 値、電圧保護値を設定できます。

変更を行ったら、変更を有効にするために必ずシステムを再起動してください。現在の設定をプロファイルに保存できます。最大 2 つのプロファイルを作成できます。

#### DDR

メモリ周波数を設定します。

#### System Alert

ハードウェアの温度、電圧、ファン速度を監視し、警告アラームを設定できます。



Performance で利用可能な機能は、マザーボードモデルおよび CPU によって異なります。淡色表示になったエリアは、アイテムが設定できないか、機能のサポートされていないことを示しています。



オーバークロック/過電圧を間違えて実行すると CPU、チップセット、またはメモリなどのハードウェアコンポーネントが損傷し、これらのコンポーネントの耐用年数が短くなる原因となります。オーバークロック/過電圧を実行する前に、Performance の各機能を完全に理解していることを確認してください。そうでないと、システムが不安定になったり、その他の予期せぬ結果が発生する可能性があります。

## 1-4 Smart Backup

Smart Backupにより、画像ファイルとしてパーティションを1時間ごとにバックアップできます。これらの画像を使用して、必要ときにシステムやファイルを復元できます。

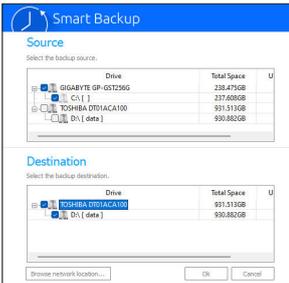


Smart Backupメインメニュー：

ボタン	説明
Settings	ソースと宛先パーティションを選択します
スタート	レスキュードライブを作成することができます
Backup Now	今すぐ、バックアップを実行できます
File Recovery...	バックアップ画像からファイルを回復できます
System Recovery...	バックアップ画像からシステムを回復できます



- Smart BackupはNTFSファイルシステムのみをサポートします。
- Smart Backupを初めて使用する時、宛先パーティション **Settings** を選択する必要があります。
- **Backup Now** ボタンは 10 分間 Windows にログインした後のみ利用可能です。
- **Always run on next reboot** チェックボックスを選択すると、システム再起動後に Smart Backup が自動的に有効になります。



### バックアップを作成する：

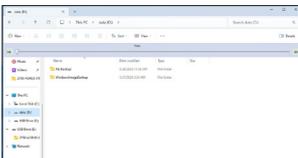
メインメニューで **Settings** ボタンをクリックします。**Settings** ダイアログボックスで、ソースパーティションと宛先パーティションを選択し、**OK** をクリックします。最初のバックアップは10分後に開始され、定期的バックアップが1時間ごとに行われます。注：既定値で、システムドライブのすべてのパーティションはバックアップソースとして選択されます。バックアップ宛先をバックアップソースと同じパーティションに置くことはできません。

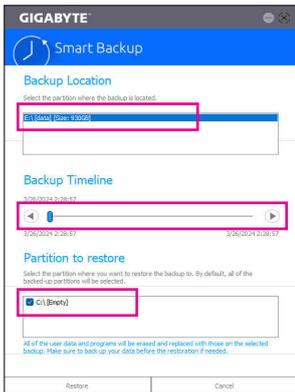
### バックアップをネットワークの場所に保存する：

バックアップをネットワークの場所に保存するには、**Browse network location** を選択します。必ずお使いのコンピューターとバックアップを保存するコンピューターが同じドメインにあるようにします。バックアップを格納し、ユーザー名とパスワードを入力するネットワークの場所を選択します。オンスクリーンの指示に従って完了してください。

### ファイルを回復する：

メインメニューで **File Recovery** ボタンをクリックします。ポップアップ表示されたウィンドウ上部のタイムスライダーを使用して前のバックアップ時間を選択します。右ペインには、バックアップ宛先のバックアップされたパーティションが (**My Backup** フォルダに)表示されます。希望のファイルを閲覧してコピーします。





## Smart Backupでシステムを回復します：

ステップ：

1. メインメニューで **System Recovery** ボタンをクリックします。
2. バックアップを保存する場所を選択します。
3. 時間スライダーを使用してタイムポイントを選択します。
4. 選択したタイムポイントで作成したパーティションバックアップを選択し、**Restore** をクリックします。
5. システムを再起動して、今すぐ復元を進めるかまたは後で復元を進めるかを確認します。「はい」と答えると、システムは再起動してWindows回復環境に戻ります。オンスクリーンの指示に従ってシステムを回復します。



ファイルとプログラムがすべて削除され、選択したバックアップに置き換えられます。必要に応じて、復元前にデータのコピーを必ず作成してください。

## BIOS 更新ユーティリティ

GIGABYTE マザーボードには、Q-Flash™ と Q-Flash Plus の 2 つの独自の BIOS 更新方法があります。どちらを選んでも、MS-DOS モードに入ることなく、BIOS 更新を可能にします。さらに、Q-Flash Plus 機能は、コンピュータの安全性と安定性のために、複数の保護機能を提供することができます。

### Q-Flash Plus とは？

Q-Flash Plus では、システムの電源が切れているとき (S5 シャットダウン状態) に BIOS を更新することができます。最新の BIOS を USB メモリに保存して専用ポートに接続すると、Q-Flash Plus ボタンを押すだけで自動的に BIOS を更新できます。

### Q-Flash™ とは？

Q-Flash があれば、MS-DOS や Window のようなオペレーティングシステムに入らずに BIOS システムを更新できます。BIOS に組み込まれた Q-Flash ツールにより、複雑な BIOS フラッシングプロセスを踏むといった煩わしさから開放されます。

## 2-1 Q-Flash ユーティリティで BIOS を更新する

### A. 始める前に

1. GIGABYTE の Web サイトから、マザーボードモデルに一致する最新の圧縮された BIOS 更新ファイルをダウンロードします。
2. ファイルを抽出し、新しい BIOS (Z890AORUSMASTER.F1 など) をお使いの USB フラッシュメモリ または USB ハードドライブに保存します。(注: USB フラッシュドライブまたはハードドライブは、exFAT/FAT32 ファイルシステムを使用する必要があります。)
3. システムを再起動します。POST の間、<End> キーを押して Q-Flash に入ります。注: POST 時に <End> キーを押すか、BIOS Setup 画面で **Q-Flash** アイコンをクリック (または <F8> キー) して Q-Flash にアクセスできます。ただし、BIOS 更新ファイルが RAID/AHCI モードのハードドライブまたは独立した SATA コントローラーに接続されたハードドライブに保存された場合、POST の間に <End> キーを使用して Q-Flash にアクセスします。



BIOS の更新は危険性を含んでいるため、注意して行ってください。BIOS の不適切な更新は、システムの誤動作の原因となります。



Q-Flash を選択してQ-Flash にアクセスできます。

## B. BIOS を更新する

BIOS を更新しているとき、BIOS ファイルを保存する場所を選択します。次の手順は、BIOS ファイルをUSBフラッシュドライブに保存していることを前提としています。

ステップ 1:

1. BIOS ファイルを含むUSBフラッシュドライブをコンピュータに挿入します。Q-Flashのメイン画面で、**Update BIOS** を選択してください。



- Q-Flash は exFAT/FAT32 ファイルシステムを使用して、USB フラッシュメモリまたはハードドライブのみをサポートします。
- BIOS 更新ファイルがRAID/AHCIモードのハードドライブ、または独立したSATAコントローラーに接続されたハードドライブに保存されている場合、POST中に<End>キーを使用してQ-Flashにアクセスします。

2. BIOS 更新ファイルを選択します。



**BIOS 更新ファイルが、お使いのマザーボードモデルに一致していることを確認します。**

## ステップ 2:

画面には USB メモリから BIOS ファイルを読み込んでいることが表示され、その後、現在のアップデート処理状況が表示されます。



- BIOS アップデートの整合性を確保するために、システムは自動的にシャットダウンして再起動します。その後、Q-Flash による BIOS 更新が開始されます。
- システムが BIOS を読み込み/更新を行っているとき、システムをオフにしたり再起動したりしないでください。
- システムが BIOS を更新しているとき、USB フラッシュドライブまたはハードドライブを取り外さないでください。

## 重要な注意事項:

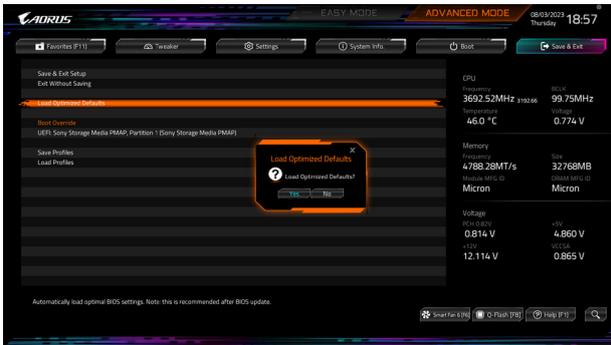
BIOS および ME ファームウェアのアップデート中、システムは自動的に複数回再起動する場合があります。アップデートの進捗画面が表示される、または OS が読み込まれるまでの間、約 20~60 秒間 (ハードウェア構成によってはそれ以上) 画面が黒い状態になることがあります。PC ケースにスピーカーまたはブザーが接続されている場合、POST ビープ音が数回鳴ることもあります。これはハードウェアの初期化および Memory Training プロセスの一部であり、正常な動作です。マザーボードへの回復不能な損傷を防ぐため、この処理中は絶対に電源を切ったり、リセットボタンを押したり、強制終了させたりしないでください。

## ステップ 3:

更新処理が完了後、システムは再起動します。

## ステップ 4:

POST 中に、<Delete> キーを押して BIOS セットアップに入ります。Save & Exit 画面で **Load Optimized Defaults** を選択し、<Enter>を押して BIOS デフォルトをロードします。BIOS が更新されるとシステムはすべての周辺装置を再検出するため、BIOS デフォルトを再ロードすることをお勧めします。



Yes を選択して BIOS デフォルトをロードします

## ステップ 5:

**Save & Exit Setup** を選択し、<Enter>を押します。Yes を選択して CMOS に設定を保存し、BIOS セットアップを終了します。システムの再起動後に手順が完了します。

## 2-2 Q-Flash Plus を使用する

### A. 始める前に

1. GIGABYTE の Web サイトから、マザーボードモデルに一致する最新の圧縮された BIOS 更新ファイルをダウンロードします。
2. ダウンロードした BIOS ファイルを解凍し、USB フラッシュドライブに保存して、名前を **GIGABYTE.bin** に変更します。注:USB フラッシュドライブは、exFAT/FAT32 ファイルシステムを使用する必要があります。
3. 電源ケーブルを 12V 補助電源コネクタ (2つある場合はどちらか一方に接続) とメイン電源コネクタに接続します。
4. USB フラッシュドライブを背面パネルの Q-Flash Plus ポートに接続する前に、電源ユニットの主電源をオンにしてください。

### B. Q-Flash Plus の使用

Q-Flash Plus ボタンを押すと、システムは自動的にQ-Flash Plus ポートの USB フラッシュドライブの BIOS ファイルを検索して一致させます。QFLED または Q-Flash Plus ボタンは、BIOS マッチングおよび更新プロセス中に点滅します。6 ~ 8 分間待機し、BIOS 更新が完了すると、LED は点滅を停止します。



- BIOS を手動で更新する場合は、まずシステムがオフになっていることを確認してください (S5シャットダウン状態)。
- マザーボードに BIOS スイッチと SB スイッチがある場合は、それらをデフォルト設定に戻してから実行してください。(BIOS スイッチのデフォルト設定:メイン BIOS からの起動、SB スイッチのデフォルト設定:デュアル BIOS 有効)
- DualBIOS™を搭載したマザーボードでは、メインBIOSの更新が終わった後、システムが再起動した後にバックアップBIOSが更新されます。完了後、システムが再起動し、通常動作の場合、メイン BIOS から起動します。